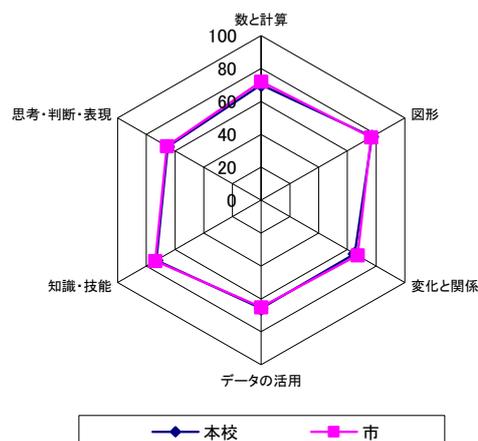


宇都宮市立宝木小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	70.1	72.1	74.6
	図形	77.1	76.5	76.1
	変化と関係	65.2	67.1	59.7
	データの活用	65.7	65.0	64.5
観点別	知識・技能	73.0	73.8	74.7
	思考・判断・表現	65.1	65.8	61.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>本校の平均正答率は、市の平均と比べるとやや低い。 ○文字を使って、2つの数量の関係を1つの式に表す問題では、市の正答率を9.6ポイント上回った。 ○2つの文字を使って表された式で、一方の文字の値から他方の文字の値を求める問題では、市の平均を6.7ポイント上回った。 ●小数や分数の計算の正答率が市の平均より低いものが多く見られた。 ●比較量が基準量の何倍になるかを求める式を選ぶ問題では、比較量と基準量が分数の場合において、正答率が市の平均より13.3ポイント低かった。</p>	<p>・小数同士の乗法、除法の計算に課題が見られた。乗法、除法ともに小数点の処理に課題があると考えられるので、加法、減法との違いを明確にしながら、基本的な計算力の向上を図りたい。 ・分数の計算においても課題が見られた。通分や約分の意味を再確認するとともに、AIドリルなどを活用して繰り返し指導し、定着を図っていく。</p>
図形	<p>本校の平均正答率は、市の平均と比べるとやや高い。 ○三角形の外角の性質に関する問題では、市の平均を11.2ポイント上回った。 ○3辺の長さを使って合同な三角形を作図する問題では、市の平均より5ポイント以上高かった。 ●複雑な立体の体積を2つの直方体に分割して求める問題では、市の平均より6ポイント低かった。</p>	<p>・図形の面積や体積を求める問題では、公式を使って面積を求めることができるよう繰り返し指導していく必要がある。自分で必要な値を調べて面積や体積を求める経験や図形を分解したり付け足したりして知っている形の図形に変形する経験を授業の中で意識的に取り入れ、定着を図っていく。</p>
変化と関係	<p>本校の平均正答率は、市の平均と比べるとやや低い。 ○表から車両数と人数の割合を求め、どの路線が最も混んでいるか選択する問題では、市の平均をやや上回った。 ●単価が異なる2つのセットからノート1冊当たりの値段を求める問題では、市の平均より8ポイント低かった。</p>	<p>・割合に関する問題では、文章問題から比較量と基準量を読み取ることに課題が見られた。キーワードとなる言葉を見つけさせることや、数直線を用いて問題を読み解く練習を重ねることを通して、割合の問題に関する抵抗感を少なくしていく。</p>
データの活用	<p>本校の平均正答率は、市の平均と比べると同等であった。 ○ドットプロットから最頻値を読み取る問題では、市の平均を6.4ポイント上回った。 ○度数分布表を完成させる問題では、市の平均を4.1ポイント上回った。 ●円グラフを正しく読み取る問題では、4.8ポイント下回った。</p>	<p>・データの見方に関する問題では、本校の正答率と市の平均が同等なもの多ことから、概ね定着していると考えられる。記述問題では正答率が低いことから、授業中に考え方や求め方を記述する機会を意識的に設定し、苦手意識をなくしていく。</p>